

『ひがしくさんぽ』

「維新の十傑 横井小楠」

秋津まちづくりセンターから秋津川沿いに約 600m のところに「四時軒^{しじけん}」があります。ここは、横井小楠の住居であり、塾生（後に各分野で活躍）の学びの場であり、日本中から小楠の教えを請いに維新時に活躍した多くの人物が訪れた場所でもあります。坂本龍馬は 3 回も沼山津の四時軒を訪問しています。当時の交通手段は主が徒歩であることを考えると、熊本城下から約 8 km 離れた沼山津の地までわざわざやって来ることから、いかに頼りにされていたかが伺えます。

あまり知られていないことかもしれませんが、小楠の高弟福井藩の由利公正が作った「五箇条の御誓文」の原案は、横井小楠の「国是七条」に強く影響を受けています。「民のための政治」（民衆が豊かになる政治）、日本が世界の平和をリードすることを目指していました。勝海舟をして「・・・とても梯子^{はしご}を掛けても、及ばぬ・・・」と言わしめたほど、明治維新以降の日本の新しいグランドデザインを描くことができたスケールの大きい人物でした。

小楠は志半ばで暗殺されてしまいましたが、教えを受けた人物は日本中で活躍していきます。また、直接の関わりはありませんが、ジェーンズ（熊本洋学校の教師、小楠の甥・太平が設立に尽力）、北里柴三郎（古城医学校で学ぶ、弟子の内藤泰吉が設立に尽力）、内藤濯（『星の王子さま』の訳者、内藤泰吉の子）など、小楠の先進的な思想を具現化していった弟子とつながりのある人物もたくさんいます。



四時軒（隣接の横井小楠記念館は開館中）が再オープンした時には、約 150 年前に活躍した郷土の偉人の顕彰のためにぜひ訪れてみてください。

